

音楽科教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00～)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案

- 第2回 7月 1日(月) (17:00～)
教科用図書の内容検討

- 第3回 7月11日(木) (17:30～)
教科用図書の内容検討

- 第4回 7月22日(月) (17:00～)
教科用図書の内容検討まとめと報告書作成

2 採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

別紙 1

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
27 ——— 教 芸	音楽 102 402 202 502 302 602	小学生の音楽

○総合所見

音楽を形づくっている要素を核としながら、それぞれの学びがつながり、深めることができるよう、学年間のつながりを考えた系統的な題材構成がされている。児童の実態に応じた楽曲や多様な活動をバランスよく配置し、関心をもって主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・音楽を形づくっている要素が明記され、それらに着目しながら音楽表現を工夫したり鑑賞したりできるよう構成されている。
- ・児童の発達段階や6年間を見通した系統的な題材構成がなされ、既習事項を生かしながら学習を積み重ねることができるよう工夫されている。
- ・様々な楽曲や音楽活動がバランスよく配置され、友と協働しながら主体的・対話的に学ぶことができるよう構成されている。

2 児童の学習活動への配慮

- (1) 同じ「音楽を形づくっている要素」であっても、学年の発達段階に応じた教材や学習内容が系統的に配列され、6年間を通して学習の内容が徐々に発展していくよう、題材が配置されている。
- (2) 表現や工夫の見通しをもてるように、演奏家によるアドバイスや、表現や音楽づくりのヒントを吹き出しで示し、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように配慮されている。
- (3) リズム遊びや友と協力して音楽づくりをすることのできる教材が掲載され、音楽の楽しさを感じながら協働して取り組めるよう工夫されている。
- (4) 「歌いつごう日本の歌」として童謡や唱歌などが精選されて取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるように配慮されている。
- (5) 情景が想像できるような挿絵や写真が多く掲載されたり、楽譜や歌詞が読みやすいような配色を用いたりして、視覚的な配慮がされている。

3 学習指導への配慮

- (1) すべての領域において、6年間を見通した系統的な題材配列やその題材のねらいに即した教材配置によって、既習事項を生かして学習を広げられるよう工夫されている。
- (2) 各頁の右下に、学習の核となる音楽を形づくっている要素が示され、身につける力が明確になったり、他の要素とのかかわりを考えて指導できるように工夫されている。
- (3) 題材によっては、資料リンクへとつながるQRコードが記載されており、必要な資料や発展的な資料を補ったり、スムーズにICTの活用につなげて指導ができるように配慮されている。
- (4) 特徴的なリズムや旋律の動きが線や図形等で視覚化されたり、音楽づくりで使う音を限定したりリズムパターンが示されたりしていることで、技能的な個人差が軽減されるよう工夫されている。
- (5) 外国語活動や道徳科などとのつながりがある楽曲を取り入れ、教科横断的な学びができるよう工夫されている。
- (6) 巻頭の「学びの地図」で何を学ぶのかがわかりやすく提示され、巻末の「振り返りのページ」で、どのような観点で学習し、どのような知識・技能が身についたのかがわかりやすくなるよう工夫されている。

別紙 1

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
17 ―― 教出	音楽 101 401 201 501 301 601	音楽のおくりもの

○総合所見

音楽を形づくっている要素を明示し、思いや意図をもって音楽を表現しながら力をつけていく題材構成が図られている。一つの題材の中で、児童の生活や心情に即した教材が複数用意されたり、主要部分の教材と選択可能な教材を組み合わせたりすることにより、個々の興味関心に沿った学びや、学校毎のカリキュラムへの対応が可能となっている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

(1) 題材毎に、音楽を形づくっている要素が明確に示され、思いや意図をもって音楽を表現しながら力をつけていく題材構成が図られている。

2 児童の学習活動への配慮

(1) 児童の発達段階に応じて既習事項を生かした発展的な学習が展開できるよう、学年が進むにつれて発展的な教材が多く配置されており、各学校の実態に柔軟に対応できるように配慮されている。

(2) 身の周りの音に関心をもったり、段階を追った多彩な創作活動を組み合わせたりして、友と関わり合いながら学習を積み重ね、学びを深められるように展開が工夫されている。

(3) 「まなびナビ」によって学び方のヒントが示されており、中・高学年では、さらに発展させた「学び合う音楽」のコーナーを設定し、見通しをもって学習を深められるように展開が工夫されている。

(4) 「音楽ランド」のコーナーで、児童の興味や習熟度に応じて楽曲が選択でき、既習事項を生かしながら豊かな音楽活動を展開できるよう工夫されている。

(5) 大判の写真や見開きのページを用いて児童の興味関心を高めるようにすることで、楽曲の情景や心情を感じ取りやすくしたり、想像力豊かに楽曲への理解を深めたりする工夫がされている。

3 学習指導への配慮

(1) 表現や鑑賞の基礎的な能力を身につけたうえで発展的な教材を学習することによって、基礎的・基本的な内容の定着を図ったり学習を広げたりするように題材が構成されている。

(2) 右上の「音楽のもと」に示された共通事項や、「学びナビ」に示された学習活動により、その題材で何をどのように学んでいくのかが明確に示されており、見通しをもって指導に当たれるように工夫されている。

(3) 教材の背景や心情を捉えやすくするために、その教材に関連した折り込みを加えた3ページ分の大きな写真により、視覚的な配慮がなされている。

(4) 英語の歌を教材として取り上げて教科横断的な学習を可能にしたり、楽器の技能習得に関しては、モジュール時間を利用して繰り返し楽しく練習して定着を図れたりするなど、カリキュラムマネジメントに対応できるよう工夫されている。

(5) 一つの題材の中で児童の生活や心情に即した教材が複数用意され、その学習内容も発展させながら力をつけられるよう配慮されている。

図画工作科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00~17:00)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案
- 第2回 7月5日(水) (17:00~21:00)
委員4名参加：教科書の特色調査・観点別考察の素案作成
- 第3回 7月10日(水) (17:30~21:00)
委員4名参加：別紙1資料作成・検討
- 第4回 7月18日(木) (17:30~20:00)
委員4名参加：記述内容の確認作業と校正作業

2 採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
116・日文	図工 103・104・303・304・503・504	ずがこうさく1・2上/1・2下 図画工作3・4上/3・4下/5・6上/5・6下

○総合所見

- ・発達段階に応じて材料や用具に多面的に関われる題材配列がされており、多様な造形遊びの題材を盛り込むなど材料体験を豊かにしながら、創造的につくり表したりできるよう工夫されている。
- ・問いかけやリード文などにより、活動を通して感じたり考えたりできる視点を示し、学びが生活や社会に生かせるよう工夫されている。
- ・学習の流れや児童の意識に添った写真やヒントとなるつぶやきなどにより、形や色、イメージに関する〔共通事項〕の内容が身につけられるよう工夫されている。
- ・教科横断的な視点を意識した構成や、幼児期・中学校との接続ページの設定により、学んだことを自覚し、次の学びへと生かせるよう配慮されている。
- ・見やすさや伝わりやすさを重視した資料や発想に悩む児童へのヒントとなる資料により、基礎的な知識を確かにしながらかつ新たな見方や考え方に触れられるよう工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・資質・能力の三つの柱に基づいた学習のめあてを児童に分かりやすい言葉で示したり、活動の後で感じたことなどを話し合うように促す投げかけを示したりすることにより、造形的な見方・考え方の深まりを自覚できるよう工夫されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・作品だけでなく、児童の目線に立った活動の様子の写真が多く掲載され、児童が自分と重ねながら、親近感や見通しをもって表現することができるよう工夫されている。
- ・活動に期待をもたせる題材名と造形活動の内容が視覚化された多様な文字のデザインにより、活動への関心や意欲が高められるよう工夫されている。
- ・色づかいを大事にする教科として、紙面全体に渡り、色彩に対する細やかな配慮がされている。
- ・諏訪郡内の実践が掲載（3・4上）されており、近隣の学校の取組に触れ、表現をより身近に感じながら活動できる。

3 学習指導への配慮

- ・友だちと見合ったり話し合ったりしながら表現を楽しんでいる様子が、色鮮やかな写真で紹介されており、自然な対話の中で、多様な見方・考え方に気づけるよう工夫されている。
- ・「教科書美術館」が設けられ、身近な造形物や魅力的な作品の写真が大きく掲載されており、児童が自然に発想を広げたり、アートカードなどの活用により友との対話を豊かにしたりできるよう工夫されている。
- ・「ひらめきポケット」が設けられ、形や色に着目しやすい自然や風景、身近なものの写真を取り上げ、楽しい形や色の世界から発想し、見方・考え方が広がっていくよう工夫されている。
- ・用具の使い方について、部分の拡大写真を効果的に使って、その特徴を捉えやすくし、初めて用具を使う児童にも、指導する教師にもわかりやすいよう、文字情報を精選し、端的な言葉で表す工夫がされている。
- ・各題材が見開き2ページで構成されており、導入から製作、振り返りへの活動の流れがひと目でわかり、活動の見通しをもちやすいよう工夫されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
9・開隆堂	図工 101・102・301・ 302・501・502	ずがこうさく1・2上／1・2下 図画工作3・4上／3・4下／5・6 上／5・6下

○総合所見

- ・既習の知識・技能を生かしながら多様な表現が可能な題材が系統的に配列され、資質・能力の三つの柱がバランスよく育成されるよう配慮されている。
- ・つける力と振り返りの観点が明示されており、ねらいと評価の一体化が図られるよう工夫されている。
- ・明るく色鮮やかな文字や写真などの紙面デザインにより、児童が興味・関心をもって活動に取り組めるよう配慮されている。
- ・教科名のマークにより他教科と関連した学習を進める手掛かりを示したり、幼保小中のつながりのある事例の掲載したりして、学びのつながりを意識できるよう配慮されている。
- ・図版やWeb動画などの多様な資料が用意されており、基礎基本の定着から多様な学びへの発展まで幅広く活用できるよう工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・資質・能力の三つの柱から「学習のめあて」が明示され、その題材で重点的に育てたい力を強調すると共に、わかりやすい言葉で表された「ふりかえり」の項目を設け、児童が学びを自覚できるよう工夫されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・表情豊かな児童の顔や共同で楽しそうに活動している姿の写真が多用され、題材の魅力に期待感を高め、楽しく活動する様子がイメージできるよう配慮されている。
- ・題材名の文字のフォントが、多くの題材で統一され、はっきりした色調でわかりやすいよう配慮されている。
- ・活動の様子や参考作品の写真が、明るい色調の背景に効果的に配置され、読みやすく大切な情報が目に飛び込んでくるよう配慮されている。

3 学習指導への配慮

- ・共同製作の様子や鑑賞場面の写真が多く掲載されており、友だちとの対話を通して、見方・考え方に触れられるよう配慮されている。
- ・「小さな美術館」に古今東西の多様な作品が紹介されると共に、作品の鑑賞から発想を広げて表した児童作品なども掲載され、鑑賞と表現とを相互に関連させた指導が取り入れられるよう配慮されている。
- ・巻末の「造形の引き出し」に、技法やその手順がわかりやすい写真や図版で紹介されると共に、題材ごとに設けられたQRコードにより動画などでも資料が閲覧でき、正しい知識を学んだり創造的な技能を働かせたりする手助けとなるよう工夫されている。
- ・各題材で用いる材料や用具が、見開きのページ左上にわかりやすいイラストで明示され、児童が材料集めや製作の見通しをもつことができるよう配慮されている。
- ・各題材で配慮すべき内容を「安全」「かたづけ」など、太い囲みで写真入りの資料で示し、児童が安全な使い方やかたづけの仕方を意識できるよう工夫されている。

家庭科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00~17:00)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案
- 第2回 6月27日(木) (17:30~19:00)
教科書採択に向けての研究
- 第3回 7月8日(月) (17:00~19:00)
教科書採択に向けての研究
- 第4回 7月18日(木) (17:00~19:00)
教科書採択に向けての研究のまとめ、報告書の作成

2 採択に向けた選定について調査研究委員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2・東書	家庭 501	新しい家庭

○総合所見

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度が育てられるよう構成されている。また、児童の発達段階や生活実態などに即して、日常生活に必要な基礎的・基本的な内容を身につけられるよう、系統的に配列されている。

それぞれの大題材を3つの段階の小題材で構成している。児童への問いかけから学習が始まり、自分の日常生活を見返し、課題意識が容易に持てるように配慮されている。学習展開が「問題解決的な学習」(3ステップ)の流れになっており、生活の課題を解決する力を育て、学んだことを生活に生かすよう工夫されている。初めて家庭科を学習する児童や学級担任でも3ステップで学習を進めやすい。また、活動ごとに「学習のねらい」「振り返り」が明記されており、目標を達成しやすい。

さらに、「日々の備え」「プロに聞く」「持続可能なくらしへ」で、時代の進展に対応した内容が取り上げられており、児童が興味や意欲をもって学習が深められるように工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- (1) 実践的、体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。
- (2) 問題解決的な学習を取り入れ、生活の課題を解決する力を育てられるように配慮されている。
- (3) 生活の営みに係わる見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- (1) 衣食住の各題材が5年生と6年生に配置され、基本的・基礎的な知識及び技能が別の題材でも生かせる題材配列になっている。
- (2) 題材の導入で身近な生活の問題を「見つめよう」と提示し、問題解決的な学習を3ステップで配置することで、学んだことを生活に生かせるよう、題材構成が工夫されている。
- (3) 「やってみよう」「深めよう」で児童の活動例が示され、家庭生活を実践的にとらえられるよう配慮されている。
- (4) 「安全に実習しよう」を巻末に示したり、本文中にマークやチェック欄を用いたりして、安全や衛生への注意が喚起されるよう配慮されている。
- (5) 実物大の作業写真や図の配置、UD教科書体の使用、つめ見出しの工夫で、児童の意欲を高めるよう配慮されている。

3 学習指導への配慮

- (1) 2年間の題材配列が目次ページに見開きのイラストで示され、小学校と中学校の学習内容を関連させながら学習できるよう工夫されている。
- (2) 「生活を変えるチャンス！」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事で活用できるよう配慮されている。
- (3) 生活の営みに係わる見方・考え方を「家庭科の窓」として各題材の最初に示し、その視点を基に生活事象を捉えられるよう題材の取り扱いがなされている。
- (4) 児童同士で対話できる学習活動が示されており、他者との協働によって考えを深められるよう題材が構成されている。
- (5) 「日々の備え」「プロに聞く」「持続可能なくらしへ」で時代の進展に応じた内容が取り上げられている。
- (6) 3ステップの中の「ふり返ろう」や実習題材の「できたかな？」で評価の観点が明確になるよう工夫されている。

4 全体的な特色

- ・ サイズをA4版にして見開きページを効果的に使い、学習の流れが把握しやすいよう配慮されている。
- ・ 2年間の学習内容を他教科、他学年、中学校での学習に発展させることができるよう、学習内容のつながりが明確に示されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
9・開隆堂	家庭 502	わたしたちの家庭科

○総合所見

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよく工夫しようとする実践的な態度が育てられるように構成されている。また、児童の発達段階や生活実態などに即して、日常生活に必要な基礎的・基本的な内容を身につけられるよう系統的に配列されている。

衣食住の各題材が5年生と6年生に配置され、比較的短いスパンで学習できるように構成されており、児童が学習の見通しや課題意識を容易にもてるように配慮されている。題材の導入で身近な生活の問題を提示し、問題解決のプロセスに沿って基礎・基本を学び、学んだことを生活に生かすという3つのステップで題材を構成する工夫がされている。

さらに、生活と防災の関わりやキャリア教育、伝統文化、「生活の中のプログラミング」、「持続可能な社会を生きる」で、時代の進展に応じた内容も取り上げられており、児童が興味や意欲をもって学習できるように工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- (1) 実践的、体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。
- (2) 問題解決型学習を取り入れ、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。
- (3) 生活の営みに係わる見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- (1) 衣食住の各題材が5年生と6年生に配置され、スモールステップで基礎・基本を身に付けられるよう系統的な配列になっている。
- (2) 題材の導入で身近な生活の問題を「なぜ～するのだろう」と提示し、問題解決のプロセスに沿って小題材を配置することで、学んだことを生活に生かせるよう、題材構成が工夫されている。
- (3) 「やってみよう」「生活に生かそう」で児童の活動例が示され、家庭生活を実践的にとらえられるように配慮されている。
- (4) 「安全に実習しよう」を巻頭に示したり、本文中にマークやチェック欄を用いたりして、安全や衛生への注意が喚起されるよう配慮されている。
- (5) 夏と冬の生活を比較できるイラストの配置、マークの使用、つめ見出しの工夫で、児童の意欲を高めるよう配慮されている。

3 学習指導への配慮

- (1) 「これまでの学習をつなげよう」で他教科の既習事項とのつながりが示され、小学校と中学校の学習内容を関連させて、学習できるように組まれている。
- (2) 「チャレンジコーナー」「レツツライ」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事で活用できるよう配慮されている。
- (3) 生活の営みに係わる見方・考え方を「生活の見方・考え方 4つの視点」として目次ページに示し、4つの視点を基に生活事象を捉えられるよう題材の取り扱いがなされている。
- (4) 「活動 深めよう」では、学習内容を生活に結びつけ、他者との協働によって考えを深められるよう題材が構成されている。
- (5) 防災マーク、「生活の中のプログラミング」「持続可能な社会を生きる」で時代の進展に応じた内容が取り上げられている。
- (6) 題材の最初に「学習のめあて」と「できたかな」のチェック欄が示され、評価の観点が明確になるように工夫されている。

4 全体的な特色

- ・ フォトランゲージの手法を効果的に使い、児童が興味・関心をもって取り組めるよう配慮されている。
- ・ 題材名に、カタカナを取り入れたり、教科書欄外に「一口メモ」を加えたりして、児童が家庭科の学習に意欲をもって取り組めるよう工夫されている。

体育科（保健） 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日（木）（16：00～）
 研究内容 研究方法 研究日程等計画立案
 各教科書の内容について検討

- 第2回 7月1日（月）（17：30～）
 各教科書の内容について検討

- 第3回 7月9日（火）（17：30～）
 各教科書の内容について検討
 教科書の選定

2 採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2 東書	保健 301	新しいほけん 3・4年
	保健 501	新しい保健 5・6年

○総合所見

- ・授業の流れが「気づく・見つける」から「まとめる・生かす」の4ステップで構成されており、主体的・対話的で深い学びに対応した学習になるよう工夫されている。各ステップでは記述欄を広く設け、思考、判断したことや友だちと深め合ったことが表現しやすくなっている。
- ・単元の最初に大きな写真やイラストが掲載され、自分自身の生活を振り返り、健康や安全に対する課題を自分のこととしてとらえることができるよう構成されている。
- ・課題の解決に向け、イラストや写真、実験結果、データなどの様々な情報を集めて調べたり、友だちと話し合ったりする活動ができるよう資料等が充実している。
- ・ステップ1～4の学習活動を枠で囲み、活動場面と本文を明確に区別すると共に、学習順序をわかりやすくレイアウトするなど、インクルーシブ教育への配慮がなされている。
- ・学びの手助けとして動画やシミュレーションなどのデジタルコンテンツの充実が図られている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・身近な生活の中の課題を自分のこととしてとらえ、それを解決するために様々な学習活動を通して理解を深め、知識を習得することができるよう工夫されている。
- ・「深める・伝える」では、学習した知識をもとに自分の考えを表現したり、他者と交流したりすることができるよう工夫されている。
- ・他学年の内容や「体ほぐし・体づくり」などの他領域、理科や家庭科など他教科との関連が示されており、学びをつなげ、健康の保持増進を目指していくことができるよう構成されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・単元の最初に掲載されている大きな写真やイラストをもとに、健康や安全について日常生活を振り返り、身近な生活の中の課題を自分のこととしてとらえることができるようになっている。
- ・各ステップの記述欄を広く設け、枠や表を利用して書き込みがしやすいよう工夫されている。
- ・学習内容を他学年や他教科に発展させることができるよう、各ページには理科や社会、家庭科などの他教科との関連が明示されている。また、全ての章扉には、関連のある教科や道徳などの内容が一覧になって示されており、理解を深め、実践につなげられるよう工夫されている。
- ・追究方法別にマークが示され、児童の学習意欲を高められるよう工夫されている。「Dマーク」のあるところではインターネットを活用して動画を見ることができるようになっており、3年「体のせいけつとけんこう」などでは、実習に生かしたり、より理解を深めたりすることができるよう工夫されている。

3 学習指導への配慮

- ・学習指導要領で示された内容について系統的な順序で示され、4年の「体の成長とわたし」を考慮し、5年で「心の健康」を最初に扱うなど、つながりを意識した配列になっている。
- ・5年「けがの手当て」では、胸骨圧迫とAEDについて資料を示し、防災・安全についての学習が充実するよう工夫されている。
- ・資料ページには豊富に写真やイラストが示されており、比較写真や発展的な資料などによって、より問題意識を高め、学びを広げることができるようになっている。
- ・各単元の終わりに「もっと知りたい、もっと調べたい」ことを記述する欄が設けられ、単元の学習を振り返るとともに、より学習意欲を高められるよう工夫されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
208 光文	保健 304 保健 504	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年

○総合所見

- ・学習の進め方が「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「いかそう」「伝えよう」など、具体的に表示され、見通しをもって他者と交流しながら学習できる構成となっている。また、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう、親しみやすい挿絵やわかりやすい図や表を入れて紙面が構成されている。
- ・単元のはじめに4コマ漫画が示され、学習内容に対する問いを持ちやすくしたり、「話し合おう」が設定されていたりするなど、主体的・対話的な学びを促すよう配慮されている。
- ・大単元の終わりには「学習のまとめ」が設定され、自分の生活に生かしたいことをまとめる機会を設けるなど、知識の習得から今後の日常生活の活用へと学びが深まるよう工夫されている。
- ・運動領域の「体ほぐしの運動」や特別な教科の道徳をはじめ、算数、理科、家庭科といった他教科の学習との関連が図れるよう配慮されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・健康安全に対する課題を自分のこととして捉えるため、「親や大人には言われるけど本当にそうなのか」などの問いにより、健康について疑問や課題が持てるよう構成されている。
- ・3年「けんこうな生活」の「考えよう」では、1日の生活の仕方や身の回りの環境について、自分の生活に合うものを導き出せるよう構成されている。
- ・ページ下部に豆知識を掲載し、課題解決や発展的な学習に役立つ情報が提示されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・原則1時間見開き1ページの構成とし、日常生活での実践に結びつけることができるよう配慮されている。
- ・4コマ漫画から自分自身の生活を振り返り、主体的、対話的な学びに結びつけられるような構成になっている。
- ・4年「変化していく体」の「科学のとびら」では、「骨の成長のしかた」や「歯の生え変わり」と成長などの豆知識を掲載し、課題解決や発展的な学習につながるよう配慮されている。
- ・特に重要な基礎的・基本的事項は、視覚的に理解しやすいよう太字にして強調している。

3 学習指導への配慮

- ・学習内容がねらいに即しており、4年間を見通して系統的な順序で配列されている。
- ・4年で「体の発育と健康」を学習することを考慮し、5年では「心の健康」を最初に扱うなど、つながりを意識して学習することができるよう配慮されている。
- ・3年「体のせいけつ」では、「調べよう・考えよう」で手洗いをする必要性やその場面について日常生活を振り返りながら学習を深め、「話し合おう」では、ハンカチや衣服を取り換える訳について友だちと話し合うなど、相互に関わり合いながら学習ができるよう配慮されている。
- ・けがや病気からの回復について詳しく触れるなど、心身の健康について学習できるよう配慮されている。
- ・保健に関連する職業や専門家のキャラクターのつぶやきが、児童の主体的な学びをサポートするよう工夫されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
224 学研	保健 305	みんなのほけん 3・4年
	保健 505	みんなの保健 5・6年

○総合所見

- ・自らの生活を振り返る中で課題を見つけ、多様な学習活動を通して、資質・能力を育成できるよう配慮されている。
- ・学習内容の補足や発展的な内容を資料として提示し、主体的な学習をサポートするよう工夫されている。「かがくの目」のコラムでは、関連する情報を掲載し、児童が学びやすいようにしている。
- ・課題解決の中で、保健の見方・考え方を働かせながら、他者と交流する場面を位置付けられるよう配慮されている。
- ・イラストや写真が大きく、また太字や吹き出しを有効に使うなど、大変見やすくなっている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

- ・自らの生活を振り返る活動を取り入れることで、健康な生活を実践的に理解できるよう工夫されている。
- ・体育、生活科、理科などの他教科や、前学年や他の単元との関連も意識した学習がなされることで、主体的実践意欲が高められるよう配慮されている。
- ・友だちと「話し合う」場面を位置づけ、他者との交流ができるよう配慮されている。

2 児童の学習活動への配慮

- ・3年「かけがえのない健康」や4年「よりよい発育・発達のために」では、チェック欄を設け1時間の学習内容がつかめるような構成になっている。5年「心と体のつながり」や「不安やなやみへの対処」では、自らの経験から問いが生まれるよう配慮され、学習内容が児童の経験と結びつくようになっている。
- ・「考える・調べる」の中に、自らの生活と重なるような「問い」を設定し、児童が自ら問いをもち、学んでいけるよう配慮されている。
- ・4年「変化してきたわたしの体」では、身長伸びを紙テープにとり、台紙にはってグラフにする活動があり、実感を伴う活動となっている。
- ・5年「不安やなやみへの対処」では、「体ほぐしの運動」を紹介したり、他教科との関連を示したりして、より理解が深まるよう配慮されている。

3 学習指導への配慮

- ・4年生で「体の発育・発達」を学習することを考慮し、5年生では「心の健康」を最初に扱うなど、つながりを意識して学習することができるよう配慮されている。
- ・4年「変化してきたわたしの体」では、男子と女子の身長伸びを表すグラフを提示し、その違いを色々な角度から読み取ったり、5年「けがの発生」では、小学生の事故件数を円グラフで示したりするなど、見方・考え方を働かせる場面設定がなされている。
- ・3年「身の回りのかんきょう」では、生活場面での実践につなげるなど、多様な学習形態により主体的に学習を進められるよう配慮されている。
- ・3年「健康な生活」では正しい手の洗い方について、4年「体の発育・発達」では運動、食事、休養・睡眠について工夫例を紹介している。5年では「自分でできる簡単なけがの手当て」の実習を取り上げ、手当ての方法について解説するなど、日常の実践に結び付けられるよう配慮している。
- ・「もっと知りたい、調べたい」を通して、児童の興味関心がそれぞれの単元に向くよう配慮されている。また、単元のまとめには「振り返る・深める・つなげる」が位置付けられ、学習したことを振り返りながら今後の生活に生かせるよう工夫されている。

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
207 文教社	保健 303	わたしたちのほけん 3・4年
	保健 503	わたしたちの保健 5・6年

(所見)

- ・ 単元のはじめにはたいへん多くの具体的な生活場面がイラスト等で書かれ、各自が課題を明確にできるよう配慮されている。
- ・ 追究場面において「考える」「調べる」「話し合う」活動を位置づけ、思考力、判断力、表現力がつくよう配慮されている。学習したことを生かし、これからの自身の行動等を記述する欄があり、実践につなげる配慮がされている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
4 大日本	保健 302	たのしいほけん 3・4年
	保健 502	たのしい保健 5・6年

(所見)

- ・ 単元の最後には授業のまとめとして学習内容の活用を位置づけ、これからの生活の中で知識の定着や技能の習得を図る工夫がされている。
- ・ 「やってみよう」「活用してみよう」「話し合ってみよう」などの活動により、主体的・対話的で深い学びに対応した学習ができるよう配慮されている。
- ・ シールを活用するなど、発達段階に即して学年に応じた配慮がされている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名

(所見)

Blank area for additional observations.

外国語（英語）科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日（木）（16:00～ ）
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案
- 第2回 7月 4日（木）（16:30～ ）
各教科書の研究
- 第3回 7月11日（木）（16:30～ ）
適当と認められる教科用図書の選定、報告書の作成
- 第4回 7月22日（月）（16:30～ ）
報告内容の加除修正、資料の検討・作成

2 採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
38・光村図書	英語507 607	Here We Go! 5 Here We Go! 6

○総合所見

各ユニット(単元)は、「Hop」「Step1」「Step2」「Jump」の順で構成されており、聞く活動から話す活動を経て、読む・書く活動へとスモールステップで4技能が身につけられるように配慮されている。また、単元の目標や各パートの目標が明記されているので、教師も児童も見通しをもって学習に取り組むことができる。

教科書以外の活動をはさんだり、順番を変えたりしなくとも、教科書の活動に沿って順にすすめていくことで、ゴールに向かって力をつけることができるので、担任が授業を行いやすい。

「Step」ではキーになる英語を使った友だちとの簡単な対話が、また、「Jump」ではその単元で学習した言語材料を用いての対話や発表活動が用意され、習熟の程度が配慮されている。また、それらの活動では、コミュニケーションの目的が明確に示されており、児童が意欲や目的意識を高めて言語活動を行えるように配慮されている。

○具体的所見

1 Hop(各単元のスタート)には、Story動画が用意され、ゆっくり聞き取り易い発音で話される英語とイラスト動画で構成されており、苦手意識のある児童でも、場面の状況や会話の内容を予想したり、理解したりして学習を進めることができる。

2 見る・聞く活動では、「～に合う理由に○をつけよう」など何を聞いて、何をすればよいのか、視点が明確に示され、安心して活動できるよう配慮されている。

3 Let's Play, Let's Tryなどの対話活動では、「たずね合おう」ではなく、「たずね合って、同じ考えの友だちを探そう」など対話の目的が明確で、児童が目的を達成するために必要な表現を考えたり、たずね合いたい気持ちを高めて対話したりできるよう配慮されている。

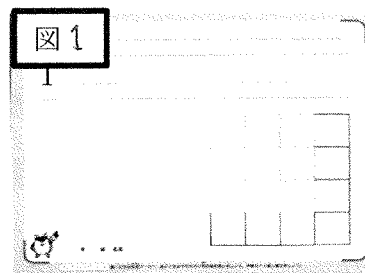
4 アルファベットの学習が、一度に行なわれるのではなく、大文字→小文字→大小文字とスモールステップで少しずつ進められる。また、教科書の欄外には、音と文字の関係に着目したコラム型のミニ教材が配置されるなど、継続的に無理なく文字を身につけられるように配慮されている。

5 書く活動は、各「Step」の聞く・話す活動で十分に慣れ親しんだ表現を用いて自分のことを一文書くというタスクを基本としており、児童の書くことへの抵抗感を減らし、無理なく力を積み上げられるよう工夫されている。

6 QRコードの中に全ての音声・動画データが入っており、教材研究の際も、授業の際も、QRコードを読み込むだけで必要な音声や動画を活用できる。児童が自主的な学習をする際も活用できる。

7 6年生の最終単元は、I want to～などの表現を使って「中学校でやりたいこと」を思い描くことがテーマである。また「中学生が説明会で6年生に学校の様子を紹介する」という場面設定は、小中連携単元の可能性を含み、児童の興味・関心、小中接続という点でもよく考えられた単元である。

8 巻末の「ペンマンシップ・シート」はアルファベット、単語等を書く練習に効果的である。繰り返し使えるので、短いドリル的な活動、ゲーム等で書く活動を行う際に有効である。【図1】



9 単元の配列がWe can! とほぼ同じで、移行しやすい。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
15・三省堂	英語505 605	CROWN Jr.

○総合所見

各学年とも、学期を目安に、Hop → Step → Jump の大単元が3つ配置されている。Hopで見通しを立て、複数のLessonから構成されるStepで基礎的な知識・技能を習得しながら、Jumpで活用する、という大きな単元構成のもとで、スパイラルに言語活動を積み上げていくので、同じ語彙や表現に繰り返し触れて学習内容が定着することが期待できる。

各大単元の終わりにある「Jump」は、いくつかの単元で学んだことを使って活動する課題解決型単元で、Jump 1、Jump 2と表現の場面が2回設定され、場面や相手を変えて、1回目での課題をもとに表現を磨いて2回目にチャレンジするなど、児童が主体的に学習に取り組む中で、基礎・基本の定着を図り、表現力が培われるよう工夫されている。

聞く活動を重視し、そこで学んだ英語表現を使って、4技能5領域それぞれの言語活動につなげられるよう学習活動が精選されている。また、5年生の早い段階から読む活動を取り入れている。

○具体的所見

1 大単元の始まり (Hop)では、一つ目のタスクに対して自分の今の力で言えること、言えないことを確認し、見通しと自らの目標・課題をもってこの単元の学習に入れるよう工夫されている。

2 互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動がStepの各パートに用意されている。指導書付属のワークシートや、デジタル教科書(別売)のモデル対話の視聴により、主体的に友と関わりながら対話活動に取り組めるよう工夫されている。

3 Stepのパノラマページは、様々なことをしている人やものが描かれており、児童の興味を引き、Small Talkを展開するのに有効である。

4 Stepの各ページの始まりにある聞く活動「Spotlight」は、イラストや図をもとに教師とインタラクションしながら、内容を予想したり、キーとなる語を手がかりにつかんだことを交流したりでき、児童の主体的な活動となるよう配慮されている。

5 Stepの各ページの下段には、Sound Chant, Word Chantの活動があり、毎時間扱うことで英語の音や語句に慣れ親しみ、自然に語彙力をつけられるよう工夫されている。音と文字の関係に対する気づきが期待でき、そこで触れた語句がReadingの英文に含まれているなど工夫されている。

6 各レッスンの中に、絵や場面を手がかりにまとまったお話を聞く、Story, Enjoy listeningなどの活動が用意されており、文脈のある英語にたくさん触れられるよう配慮されている。

7 表現活動の際には、分かりやすく伝えること、会話を続ける工夫などがTipsとして示され、コミュニケーション態度を養うよう配慮されている。【図1】

【図1】



適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
61・啓林館	英語 508 608	Blue Sky elementary

○総合所見

全単元で、4技能5領域がバランスよく位置づけられ、各パートの目当てを達成することで、単元の目標に到達できる仕組みになっており、スモールステップで学習が進められるよう工夫されている。学習の流れが見開き1ページで明確化されていて、担任が授業を行いやすい。

語句や表現を導入する際に、イラストや写真などをヒントとして音声聞くことで、日本語を介さず、児童自らその意味や使い方を類推したり、気付いたりできるよう工夫されている。

各パートには目当てが明示され「できたかな」の色塗りグラフがあり、単元の終わりに「Looking Back」のページを設けるなど、自己評価を大切に学習を進められる。また、場面や状況、他者を意識した目的の明確な対話活動を行うことにも配慮があり、児童の「学びに向かう力」を高められる。

○具体的所見

1 単元の扉のページには、Small Talkに使える素材が表現され、絵を見ながら既習事項を使って即興的なやり取りができる。

2 各パートには、自分の学習を振り返り、達成度に応じて色を付ける「できたかな」欄、単元の終わりには、単元の目標に対して振り返ったり、「言いたかったけど言えなかったこと」ことをメモしたりできる「Looking Back」のページ【図1】、巻末には、1年の学習を振り返る「Can do List」ページがあり、自己評価や自己の課題意識を大切にした主体的な学習態度を育成することへの配慮が

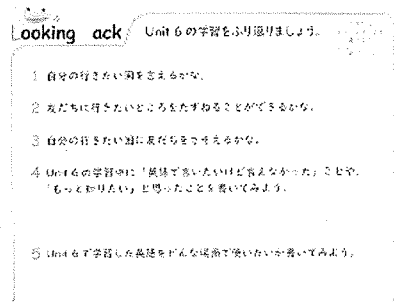
3 各パートの聞く活動の内容に他の国の子どもたちの生活を取り入れたり、他の国の様子や習慣を取り上げたDid you knowコーナー【図1】を設けたりして、異文化への理解を深めたり、固定観念にとらわれない柔軟な考え方、人への接し方を身に付けたりできるよう配慮されている。

4 アルファベットは、5年の教科書の初めに扱った後、各単元で慣れ親しんだ単語の一部を書く活動を重ねながら、音と文字の関係について習得していけるよう工夫されている。

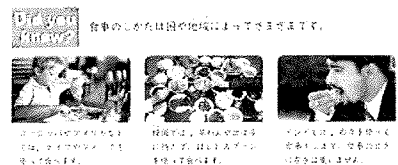
5 各パートのチャンツコーナーでは、キーとなる基本文が、アクセントとともに示されており、リズムや強弱に気を付けて発音練習できる。また、基本文をもとに自己表現をする際に、どの部分の言葉を入れ替えることができるかを口で囲み、分かりやすく表現活動へつなげられるよう配慮されている。

6 6年教科書では、各パート毎には、慣れ親しんだキーとなる文を使って、自分のことを一文書いてみる活動が用意されている。単元の最後（パート3）には、書いた文をつなげてまとめた文を書くことができるよう構成されており、中学での学習に向け、書く力がつけられるよう配慮されている。

7 巻末には、付録として、対話活動に使える絵カードが豊富についている。カードが切り取りやすいようミシン目を入れてあるなど、授業での活動時間確保のための細かな配慮がある。



【図1】



その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2・東京書籍	英語 501 502 601	New Horizon Elementary English courses

(所見)

対話活動や発表活動の進め方が一目でわかるように手順やキーとなる英文が示され、どの語句を入れ替えると自己表現になるか視覚的にわかりやすく示され、主体的な学習への配慮がされている。使用する語や表現、量、難易度が児童の発達段階に応じて配慮され、学習が抵抗感が少なくすすめられるように構成されている。

学級担任が授業を進めやすいように、指導書にデジタルブックが付属されている。また、付録のカードが充実し、教科書に貼ることにより、学習の足跡を児童自身が振り返りやすくなっている。

11・学校図書	英語 504 604	Junior Total English
---------	------------	----------------------

(所見)

内容の程度、分量が児童の発達段階に配慮されて作られている。各単元の始めに目標が示され、15分単位で何を行えば良いか教科書に明記されているので、児童、学級担任にとっても見通しをもって学習をすすめることができるよう工夫されている。

年間2回のProject Timeで、そこまでに学んだ表現を活用した発展的な表現活動を行い、児童の学習段階に応じた取り組みができるように配慮されている。

17・教育出版	英語 506 606	One World Smiles
---------	------------	------------------

(所見)

1時間の終末に友だちとのactivityが位置づけられそれぞれで積み上げてきた表現を活用してFinal activityにつながるように学習活動の配列が工夫されている。

1時間の学習が、教科書の配列に沿って行えばできるように構成され、児童も担任も見通しをもって学習に取り組むことができる。

6年の後半では、単元末に「主語＋動詞＋目的語」など文構造を意識して、自分のことを一つ表現するコーナーが設けられ、中学での学習を意識しながら、書く力を伸ばす工夫がされている。

9・開隆堂	英語 503 603	Junior Sunshine
-------	------------	-----------------

(所見)

単元の前半は聞く活動を繰り返し行い、後半は友達とのコミュニケーション活動を中心にして活動し、4技能をバランスよく習得できるよう工夫されている。

四季の行事や日常生活、学校生活に沿うよう単元が配列され、児童の関心意欲が高まるよう工夫されている。

複数の単元を学習した後に、各Lessonで身につけてきた表現、慣れ親しんできた語彙などを活用して自分の考えや気持ちを伝え合うProject学習が用意されている。

特別の教科「道徳」科 教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

- 第1回 6月20日(木) (16:00~17:30)
研究内容、研究方法、研究日程等計画立案
・日時、会場、分担等の決定
- 第2回 7月1日(月) (17:30~19:30)
教科書会社8社についての比較検討
・適当と思われる教科用図書3社を選出
- 第3回 7月9日(火) (17:30~19:20)
教科書会社3社についての比較検討
・最も適当と思われる教科用図書の検討
- 第4回 7月17日(水) (18:30~20:00)
調査研究報告書の作成・検討
・採択研究協議会(7/30)での報告内容についての確認

2 採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
38 光村	道徳 105・205・305 405・505・605	どうとく1・2 きみがいちばんひかる とき 道徳3・4・5・6 きみがいちばんひ かるとき

○総合所見

・扱いやすいサイズ、読みやすい字体・漢字へのルビ、紙質、行間、色彩など、UD配慮がなされていて、児童にとって理解しやすいものになっている。ねらいに迫る優れた複数の発問や、役割演技・話し合いの観点を示すことで、ねらいに沿った主体的・対話的で深い学びが可能になるように工夫されている。年間を3つのまとまりに分け、児童の生活や実態に合わせた関連教材を配列し、カリキュラムマネジメントを意識した授業づくりができるように工夫されている。複数教材とコラムを組み合わせたユニット型学習により、いじめ問題や情報モラルなどの現代的な課題を多面的・多角的にじっくり学べるよう工夫されている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮について

(1) 現代的な課題や日常生活でよく見られる課題を扱った資料、複数の観点が入った資料、判断に迷う資料などをまとまりを考えてバランス良く配置し、他教科や日常生活などとのつながりを考える発展活動を示すことで、物事を多角的・多面的に考えて主体的に話し合い、よりよい生き方に気づけるように工夫されている。

2 児童の学習活動への配慮について

(1) 児童の日常経験に沿った資料や道徳的価値の葛藤を含んだ資料などをまとまりを意識して配置し、児童が自分自身の日頃の姿を見つめやすくしたり、よりよい生き方に自ら判断し気づけるように工夫されている。

(2) 資料のはじめに、キャラクターの吹き出しの形で、学習への問題意識がもてる導入発問を示し、資料の終わりに「考えよう・話し合おう」のコーナーを設け、学習のねらいやそれに迫る複数の優れた発問を示していることで、児童自らが主体的に考え議論し合いながらねらいに迫る学習が無理なくできるように工夫されている。

(3) 「演じて考えよう」「心を通わそう」「気持ちを表すことば」「相手の気持ちによりそおう」などのコーナーを各学年に設け、役割演技の手立てや話し合いの観点、友との関わり方などを発達段階に応じて体験的に学ぶことができるように工夫されている。

(4) 扱いやすさや視点移動の少なさなどに配慮した紙面サイズ、目に優しい黄色みかかった紙質、見やすい字体や行間、柔らかな色彩など、特別支援教育の視点を取り入れ、児童の負担や読みやすさに配慮した体裁になっている。資料の雰囲気にあった適切な挿絵や資料に入り込める迫力ある挿絵や写真を多く掲載し、内容理解が進むように工夫されている。

3 学習指導への配慮について

(1) 日常生活や内容項目相互の関連性、児童の発達段階などを考慮しながら、一年間を3つのまとまりに分けて関連教材を配置したり、いじめ問題や情報モラルなどの現代的な課題を扱った資料やコラムをセットで取り上げたりしながら、児童の理解がより深まり、多面的・多角的にじっくり考えられるように題材の配列が工夫されている。

(2) 資料の最後に、「つなげよう」のコーナーを設け、他資料や他教科、学校行事や生活体験などとの関連を図ったり、関連図書を紹介したりしながら、道徳的な価値の自覚をより促したり、多面的・多角的に考えたりできるように工夫されている。

(3) 3つの大きなまとまりごとに「学びの記録」を記入するページを設け、授業の振り返りを蓄積していくことで、自分の考え方の変容や道徳性の高まりなどを自己評価し易いように工夫されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2 東書	道徳 101・201・301 401・501・601	新訂 あたらしいどうとく 1 新訂 新しいどうとく2・3・4 新訂 新しい道徳5・6

○総合所見

・「よりよく生きようとする心を育てる」ために活動型教材や問題解決的な学習等を取り入れ、主体的に学習が進められるように工夫されている。「主体的に学習に取り組む態度を育てる」という点で「学習の振り返り」や「学習のまとめ」が新しくなり、一年間を通した振り返りができるように工夫されている。子どもたちの心を揺さぶる心に響く教材を取り上げ、「確かな道徳性を養う」ことができるよう配慮されている。現代的な教育課題への取組みや、他教科との関連、さらに特別支援教育への配慮、ユニバーサルデザインへの取組みなど、様々な編集上の配慮がなされている。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮について

(1) 活動的教材や問題解決的な学習に対応した教材を掲載したり「いじめをしない許さない心」を育てる教材や人との関わりの中で考えることができる学習活動ページを全学年で掲載したりする等、「よりよく生きようとする心を育てる」ために工夫されている。

(2) 子どもたちの心を揺さぶる感動的な教材や、身近な話題で共感を呼ぶ教材を掲載したり、「つながる・広がる」で、各教科等関連を明示したりする等、「確かな道徳性を養う」ために配慮されている。

(3) 評価にも生かせる「ふり返りのページ」を新しくしたり、各学年の「道徳の学習を進めるために」では、具体的に授業のオリエンテーションを行うことができるようにしたりする等、主体的に学習に取り組む態度を育てるために工夫されている。

2 児童の学習活動への配慮について

(1) 冒頭に一時間の道徳授業を進める際のステップが示され、話し合いをする際のポイントを確認できるよう工夫されている。

(2) 「つながる・広がる」では、各教科等との関連を明示し、児童がつながりを意識することができるように配慮されている。

(3) すべての子どもたちが見分けやすいように色づかいを工夫したり、絵や図柄を変えたりするなど、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

(4) 改行位置を工夫したり、学習するうえで大事なことが目立つように囲みをつけたりイラストで説明したりするなど、特別支援教育への配慮がなされている。

3 学習指導への配慮について

(1) 教材の冒頭に考えるポイントを示して、教材を通して何を考えるのかを投げかけたり、「考えるステップ」が、①→②→③と段階的に掲載されたり、話し合いの手引きとして活用できるように工夫されている。

(2) ユニット「いじめのない世界」では「とびらページ」「直接的教材」「間接的教材」という3つのユニットから構成されていて、いじめについてじっくり考えることができるよう配慮されている。

(3) 付属する「出会う・ふれ合う」で、コミュニケーション活動を通してクラスメートとの心の交流を図り、人間関係の構築につなげられるように配慮されている。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
208 光文	道徳 601・602・603 604・605・606	しょうがく どうとく ゆたかなこころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかなこころ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 6年

○総合所見

・伝記や世の中の話題になっている人物や出来事がたくさん資料として扱われており、そのような教材からは、自分の生き方の見本にしたり、自己の生き方や見方を振り返って考えたりすることができるよう配慮されている。定番の資料がいくつか入っているため、今までの道徳の学習を生かすことができるよう配慮されている。資料の登場人物の考えや生き方の良いところを、一人ひとりが感じた感想をもとにして、授業で価値を深めて考えたり、友だちと議論し深める展開が期待できる。

○具体的所見

1 教科の目標からの配慮

(1) 資料の始まりの前には、道徳的価値に関連するキーワードとなる言葉と、資料に関わって問いを示すことで、児童が進んで追究していけるよう配慮されている。

(2) 欄外にある吹き出しが資料を読み進めたり、鋭角的に価値を考えるとときの助けになったりするよう配慮されている。

(3) 教材終末の「まとめる」「ひろげる」学習では、児童が主体的に関わり合って学習することができ、日々の生活につなげて学習していけるよう工夫されている。

2 児童の学習活動への配慮

(1) 価値の四観点の色分けされており、何について学ぶのかおよその内容をつかむことができるよう配慮されている。

(2) 資料が右ページからの始まりとなっており、1時間ごとに新鮮な気持ちで読み進めることができるよう配慮されている。

(3) 学年の発達段階を考慮に入れた資料が載せられており、文章や言葉も学年に合った表現が使われているための配慮がされている。

(4) 5、10、15の行を示す表示があるため、資料について話し合うときの手掛かりになるよう配慮されている。

3 学習活動への配慮

(1) 各学年で大切にすることを目次の色分けにより特出してあり、特に「きまりを守ること」「命の大切さ」について発達段階に応じて学習できるよう工夫されている。

(2) いじめの学習については、いじめられる側といじめる側の両方を取り扱っており、いじめについてより深く考えることができるよう配慮されている。

(3) 難しい語句について説明が載っていたり、学習していない漢字にルビが振ってあり、資料を読み進めるうえでの理解が進められるよう配慮されている。

(4) 配色については温かみがある挿絵や写真が大きく載っており、資料の登場人物の心情や情景描写についての理解が進められるよう配慮されている。

- * 3候補以上
- * 各社を個別に記載

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
11 学図	道徳 102・103・202・203・302・303・402・403・502・503・602・603	かがやけみらい しょうがっこうとく1ねんきつき, まなび かがやけみらい 小学校とく2年, 3年きつき, まなび かがやけみらい 小学校道徳4年5年6年きつき, まなび

(所見)

・教材文の「きづき」と発問や活動を掲載した「まなび」の分冊になっており、授業者が適宜判断し、児童の実態に応じて柔軟に授業できるように配慮されている。補助資料が充実していて、教材文と併せて活用することで児童の興味関心を促す配慮がされている。QRコードで提示資料を表示できるようになっており、内容理解の助けとなるよう配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
17 教出	道徳104, 204, 304, 404, 504, 606	しょうがっこうとく1 はんばたこうあすへ 小学とく233 はばたこう明日へ 小学道徳456 はばたこう明日へ

(所見)

・同じ内容項目が続けて掲載されているので、扱いたい内容項目を重点的に指導する時に、理解が深まっていくように配慮されている。学習活動を具体的に例示しているため、授業する際に道徳的価値を多面的、多角的に考えられるよう配慮されている。巻末資料を活用し、道徳の学習の記録を残すことができるよう配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
116 日文	道徳 106, 107, 206, 207, 306, 306 406, 407, 506, 507, 606, 607	しょうがっこうとく いきるちから1, とうとくノート 小学とく 生きる力23とうとくノート 小学とく 生きる力456とうとくノート

(所見)

・教材文の登場人物の紹介が書かれており、内容把握の助けとなるよう配慮されている。教材の中に学びの手引きが示されており、授業者が子どもと学び方を共通理解しながら学習を進めていくことができるよう配慮されている。道徳ノートが別冊で付いており、学習の記録を1冊にまとめることができ、学びの足跡を振り返ることができるよう配慮されている。

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
224 学研	道徳 109, 209, 309, 409, 509, 609	新・みんなのどうとく123 新・みんなの道徳456

(所見)

・内容項目に対して、資料の数や内容がバランスよく掲載されていて、どの道徳的価値も扱
いやすいよう配慮されている。文字が大きく読みやすく、イラストや写真も際立たせる配慮
がされている。いのちに関わる内容の資料が複数用意されていて、重点をかけていのち
について考えられるよう、どの学年の教材にも配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
232 廣あかつき	道徳 110, 111, 210, 211, 310, 311, 410, 411, 510, 511, 610, 611	みんなでかんがえ、はなし、あうしようがくせいどうとく11 じぶんを見つめ、みんながえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく23 自分を見つめ、考える どうとくノート23 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳456 自分を見つめ、考える道徳ノート456

(所見)

・6年生の教材には、長野オリンピックと諏訪中央病院を題材とした教材が採用されており、
身近な事象を題材として考えることができる。学年の実態に応じて文章量や内容が考えら
れており、高学年はじっくりと思考できる内容のものが多い。「道徳ノート」を活用することで、
道徳の時間の学びを振り返り自己の思いを見つめ直すことができるよう配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名

(所見)

.....

.....

.....

.....

.....